



関学総合政策学部生による
子どもたちの笑顔のために
“For the Children’s Smile”
を活動理念とする国際協力団体

靴プロジェクト

裸足で生活している子どもたちの命を守るために
日本の幼稚園で寄付していただいた靴を
フィリピンの子どもたちへと届ける活動



国際理解教育

国内の学校を訪問し、世界の現状や問題、
メンバーが得た経験や知識を伝え
世界に目を向けるきっかけ作りをする活動



子ども食堂

日本にも貧困問題が身近に存在していることから
その子どもたちの居場所づくりを提供している
子ども食堂に訪問しボランティアをする活動



大学では自分で時間をコントロールする機会が増えます。
その中で貴重な4年間を有効活用するかしないかは
あなた次第。仲間と同じ目標をもって何かをすることは
卓上では学べない経験を得ることができます。

子どもたちの未来のために継続的な支援を行っています！

GCaP

グローバルキャリア プログラム国際協力コース



01 GCaPとは？

将来、国際社会で活躍する人材を育成するための総合政策学部独自の少人数制プログラムです。教養や専門的知識を習得するとともに海外留学や発展途上国へのフィールドワークなどに参加することで、問題解決能力や政策応用力、高度な実践英語能力やコミュニケーション・スキルを身につけることを目指しています。

02 特徴



幅広い学び

公共政策、経営管理、国際関係、経済学、プロジェクトマネジメントなど総合政策学部の総合性を活かした実践的な授業が受けられる



能力の向上

海外留学または途上国フィールドワークに参加し、問題解決能力、政策応用力、高度なコミュニケーション能力、実勢英語能力を養う



少人数ゼミ

実際の国際問題のケースを用い、より深く学ぶ授業。英語のディスカッションやレポート作成、プレゼンテーション能力の向上を目指す

03 入った理由

- ・国際社会で活躍されてきた先生方から直接少人数の授業を受けられる
- ・意識の高い学生と切磋琢磨することで、自分の成長に繋がった
- ・高い語学力や成績が求められる環境に身を置き目標達成のモチベーションにしたかった

04 入って良かったこと

- ・尊敬できる先輩や仲間ができ、教員からの手厚いサポートが受けられた
- ・英語で文献を読みレポートを書くことが前より苦でなくなった
- ・より広く物事を捉えられるようになった
- ・教員も含めたランチ会など親睦を深める機会があった

05 これからの挑戦

留学をと通して中国や台湾について深く学び、より専門性を高めるため大学に進学する。





ソノマ州立大学 英語研修・フィールドワーク

1 プログラム概要

期間 2018 1.30~3.3 (春休み)

- 総合政策学部独自の国際交流プログラム
- アメリカ カリフォルニア州にあるソノマ州立大学にて、週20時間以上の授業とさまざまなフィールドワークを行う
- 期間中は現地の家庭にてホームステイ



2 参加の目的

- 日本の外で 自分のスキルと知識を試してみたい (学びの成果)
- アメリカで 再びホームステイがしたい
- 語学学習, 観光 < コミュニケーション

CLASS

現地学生との交流



多国籍のクラスメイト

求められたこと

- 多国籍のクラスメイトのディスカッションの中で複雑なテーマに対して自分の意見を発言すること
- 多様なテーマに関する知識

活かされたこと

- 本学部で学ぶ中で触れてきた社会問題
- エッセイの書き方およびプレゼンテーションの方法 (EC)

FIELDWORK

ホームレス支援活動



小学校での文化交流

求められたこと

- 興味のあるボランティア活動を自らリサーチすること
- 現地学生とのコミュニケーションを通して情報収集
- 主体的に考え行動すること

活かされたこと

- サークル活動で異文化交流活動を企画した経験
- ホームレス問題の知識 (キリスト教学・EC)

HOMESTAY

ホストファミリーとのコミュニケーション



クラスメイトを招いてのホームパーティー

求められたこと

- 日常会話からトラブルが起きた時の説明などファミリーとの幅広いコミュニケーション
- 自分を表現すること

活かされたこと

- 個性
- 日本文化に関する知識

3 気づき・学び

- 総合政策学部での学びの重要性
- 多様性 (アメリカ・人・宗教)
- 限られた期間でどれだけ多くの人と、どのように繋がりを持つか
- 多言語で自分を表現すること

4 これから

- 本学部での学びを深める
- 社会問題、国際問題に触れ、自分の考えを持つ
- 個性を磨く
- 次の機会までのスキルアップ (語学・知識)

フィリピンフィールドワーク 2017

日時: 2017/8/29

~
2017/9/1

活動目標

つたえる～Smile, Share and ○○～

- ① 私たちから子どもたちへ教育活動を、子どもたちから私たちへ現状を伝え合う
- ② 学んで終わりではなく、帰国後の共有に力を入れる

アジア開発銀行 (ADB)

- ・ 発展途上加盟国の発展のために設立された国際開発金融機関
- ・ 事業内容: 開発プロジェクト/ 社会基盤などに対する技術支援

ストリートチルドレン

- ・ 家も家族もない子どもたちが路上生活を余儀なくされる
- ・ 1日の労働時間は6～14時間
- ・ 健康被害/ 人身売買/ 性感染症のリスク

ゴミ山

- ・ 首都圏から集められたゴミの中で1日1度の食事で暮らし、お金になるものを探し歩く
- ・ インフラが整っていないにも関わらず、靴がなく裸足で行動する

フィールドワークから 学んだこと

- ・ 物や金の貧困だけでなく、人間関係や社会の貧困も深刻であった
- ・ 物への執着があり、貧困と繋がっているのでは
- ・ メディアだけでは分からないゴミ山の悪臭
→ 「貧困」のリアルをより多くの人に伝える重要性

事後活動

日時: 2017/11/17

関西学院大学 総合政策学部 リサーチフェア

目的: 総合政策学部生に「貧困」について自ら考え、理解を深めさせる。



交換留学 ノルウェー・オスロ大学

00 高校生時代

- 受験勉強
- 漠然と海外に興味を持つ
- 解答のない問題を考えたい

01 大学生時代

- 長期休みにはなににか一つやり遂げる
 - 日韓学生フォーラム
 - 米・ソノマ州立大学英語研修
- 交換留学準備(3年秋出発に向けて)
 - 英語のスコア取得
 - 留学で何を勉強したいか(ジェンダー・福祉)



02 交換留学(2017.08 - 2018.06)



ノルウェー・オスロ 大学とは？

- 国内最大規模の大学
- 生徒数は約30,000人
- 10学部(文・理系両方)



- 授業 (105分×3講義/週、セミナー)
 - Gender Equality in the Nordic Countries
 - Nordic welfare society



- 海外学生たちの勉強方法
- 効率的な時間の使い方
- 卒業論文へつながる専門的な学び

- 様々なチャレンジ
現地で一年間生活するなかで

① 言語の壁



② 気候



③ 病院のシステム



④ 計画と偶然



- 自分で周りの環境を選択していくこと
- 現地の人たちに助けをもらい乗り越えた経験
- 価値観や文化が違う中でお互いの合意点を見つけていくこと

03 課題

- 無計画さ
- Academic Writing

04 今後の大学生活

- 4年間で卒業する(予定)
- 院進学を目指す



中期海外インターンシップ

小西ゼミ 3年 郡 優海子

①参加しようと思った理由

- 語学ではなく、留学+αの
- 大学卒業後何がしたいか決まっていない
- 働くという漠然としたイメージ
- ビジネス分野でのアカデミック英語力を鍛えたい

②プログラム内容

期間:2017/9/1-2017/12/10
(約3カ月)

場所:シドニー,オーストラリア

8月 CV(履歴書)を送り、面接を行う

9月 University of New South Wales
↓ で実践的なビジネス英語を勉強
10月

12月 現地企業でインターン

③インターンシップ

“Radisson blu plaza hotel sydney”



～どんな事をしたか～
主にマーケティングの手伝い
例)登録者のメールアドレスの
分類し、情報量を増やした
広告メールを作る
シーズン事にホテルができる
イベントの企画

シドニー中心部に位置する5つ星ホテル
Sales and marketing部門のインターン



ー参加して得たもの、これからー

マーケティングに関わり、アイデアを発案して形にしていく面白さを感じた。また、経済分野への興味が広がり、社会にできるまでに勉強しておく必要性やパソコンスキルを磨く課題もできた。実際に働いてオーストラリアの雇用環境がとても整っていると感じ、日本でも問題である雇用問題やワークライフバランスに興味をもち、研究課題として勉強している。